

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 教育政策課	担当課長名	小林 弘典
(※)第2期実施計画の事業名	教育コミュニティづくり推進事業	財務会計上の事業名	教育コミュニティづくり推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5021 1	財務会計上の短縮番号	6077
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興	
	項目	項目1教育コミュニティづくりの推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	地域の教育力の向上を図り、子どもの生きる力を促進する。
事業の対象 (誰を、何を)	市立学校園、保育所の園児・児童・生徒およびその保護者、市民
事業の手段・方法 (どのように)	各学園(中学校区)で教育コミュニティづくり推進委員会を設置し、事業の企画、立案、実施を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 22 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29	
事業費(千円)	526	503	564	2,049	112.1%	
主な内訳	報償金	330	363	400	1,925	110.2%
	消耗品費・印刷製本費	116	80	120	80	150.0%
	保険料	80	60	44	44	73.3%
人件費(人・千円)	0.30 1,840	0.22 1,082	0.09 702	0.22 1,106	40.9%	
内訳	正職員	0.20 1,480	0.12 912	0.09 702	0.12 936	75.0%
	再任用短時間勤務職員	0.10 360	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0 0.10 170	0	0	0.10 170	0.0%	
支出合計 A	2,366	1,585	1,266	3,155	79.9%	
財源	国・府支出金	188	188	178	188	94.7%
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	2,178	1,397	1,088	2,967	77.9%	
一般財源比率 C÷A	92.1%	88.1%	85.9%	94.0%	97.5%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	学校・家庭・地域が連携し、協働することが基盤となるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくり推進連絡会	回	3	3	3	3	3	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくりに係る研修会	回	1	1	1	1	1	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくりに係る研修会参加人数	人	69	55	73	60	60	
	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくり推進事業参加者人数	人	5,400	5,589	5,400	5,400	5,400	
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		研修会参加人数が昨年度に比べる増加したため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		「親学習」研修会の対象となる保護者を市立幼稚園に加え、小学校の低学年に拡充することで、子育て世代への啓発が可能である。また、教職員に対しても、継続して実施することで「親学習」研修会に対する認知度を高めていくことが必要と考えるため。各学園におけるコミュニティづくりについても、充実した取り組みの可能性があるため。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 23 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	H23年度、国の委託事業が補助事業(教育コミュニティづくり・学校支援地域本部・家庭教育)に変更。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	子ども達を中心に据え、学校と家庭・地域が連携する教育コミュニティづくりは必要不可欠なものであり、令和元年度も継続して実施する。	
現在抱える課題と対策	課 題	地域人材の固定化。新しい人材の確保。
	対 策	コミュニティづくりの活動を地域に加え、保護者にも啓発する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	地域人材の高齢化が進む中、次の世代の人材を確保する必要がある。そのためには、教職員・保護者・地域共同の研修会の開催や学園の取り組みを教育コミュニティNEWSとしてホームページや各学園に掲示するなど、啓発活動を行う。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 教育政策課	担当課長名	小林 弘典
(※)第2期実施計画の事業名	学校支援地域本部推進事業	財務会計上の事業名	学校支援地域本部推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5021 2	財務会計上の短縮番号	6080
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興	
	項目	項目1教育コミュニティづくりの推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	地域の教育力の活性化を図り、豊かな人間関係の中で子ども一人ひとりの「生きる力」と「たしかな学力」を育む。
事業の対象 (誰を、何を)	市内中学校区(小・中学校)
事業の手段・方法 (どのように)	学校支援地域本部を設置し、教職員、保護者、地域住民の連携を強化する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	大阪府補助金交付規則(昭和45年大阪府規則第85号)第13条

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		1,547		1,546		1,594		1,546		103.1%
主な内訳	報償金	1,485		1,485		1,440		1,485		97.0%
	消耗品費	40		40		39		40		97.5%
	通信運搬費・機器借上料	22		21		115		21		547.6%
人件費(人・千円)		0.30	1,840	0.22	1,082	0.08	624	0.22	1,106	36.4%
内訳	正職員	0.20	1,480	0.12	912	0.08	624	0.12	936	66.7%
	再任用短時間勤務職員	0.10	360		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0	0.10	170		0	0.10	170	0.0%
支出合計 A		3,387		2,628		2,218		2,652		84.4%
財源	国・府支出金	933		933		887		933		95.1%
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	2,454		1,695		1,331		1,719		78.5%
一般財源比率 C÷A		72.5%		64.5%		60.0%		64.8%		93.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	学校支援コーディネーターは地域の方をはじめとした外部人材を活用している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	学習・部活動支援、環境整備等で地域人材を活用する業務。
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	地域人材をコーディネーターとして活用することで、学校と地域が連携を図ることができ、地域の方にとっても「やりがい」を感じることができる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	元年度	
				(実績)	(実績)	(実績)	(H30)	(予定)	
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	学校支援地域本部の設置	校	15	15	14	14	14	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	学校支援コーディネーターの活動回数	回	808	853	857	800	800	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	学校支援コーディネーター	人	42	47	47	50	50	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	学校支援員	人	1,995	1,940	1,930	2,000	2,000	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		学校支援コーディネーターの人数・活動回数は増加しているが、学校支援員の数が昨年度に比べて減少しているため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		学校を支援していただいているコーディネーターや支援員の人数については、改善の余地があるため。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 23 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成23年度より、国委託事業「学校支援地域本部事業」が補助事業に変更されたことに伴い、新たに本事業をおこした。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	学校・家庭・地域が連携を図りながら、学習支援活動や部活動支援、環境整備等を行うことができた。	
現在抱える課題と対策	課題	地域人材の確保をどのように行っていくか。
	対策	学校と連携しながら地域人材を発掘したり、保護者に対して取り組みを周知する必要がある。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	教職員や学校支援活動に携わっている支援員の交流を促進するような機会を設定する。また、各学校における学校支援活動についてホームページや学校の掲示板で保護者や市民に啓発していく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 教育センター		担当課長名	西山 充広
(※)第2期実施計画の事業名	こども会育成事業		財務会計上の事業名	こども会育成事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5023	1	財務会計上の短縮番号	6975
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興		
	項目	項目3青少年の健全育成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	子どもの仲間集団による活動を通じて、子どもの健全な心身の発達を地域の大人の協力を得て育成する。
事業の対象 (誰を、何を)	市内在住の就学3年前の幼児から中学3年生まで
事業の手段・方法 (どのように)	地域が育むこども会の活動を支援するとともに指導者やリーダーの養成を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 37 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		1,631		1,698		1,630		1,628		96.0%
主な内訳	報償金	1,198		1,158		1,116		1,095		96.4%
	負担金	376		491		464		473		94.5%
	通信運搬費	58		49		50		60		102.0%
人件費(人・千円)		0.89	3,736	1.06	4,321	1.06	4,428	0.20	645	100.0%
内訳	正職員	0.14	1,036	0.16	1,216	0.16	1,248	0.05	390	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.75	2,700	0.75	2,850	0.75	2,925		0	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0	0.15	255	0.15	255	0.15	255	100.0%
支出合計 A		5,367		6,019		6,058		2,273		100.6%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	5,367		6,019		6,058		2,273		100.6%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		市が半額を補助しているが、こども会の単位数や会員数、加入率が減少傾向にあることを鑑みれば、これ以上の保護者負担は望ましくないと考える。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	青少年の健全育成や安全管理の視点において、教育委員会がこども会活動の支援・育成を行うことが肝要であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値	元年度	
				(実績)	(実績)	(実績)	(H30)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	単位こども会数(加入率)	%	24	22	20	20	20	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	リーダーの登録数	人	164	151	217	210	210	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	会員数(幼児小学生)	人	1462	1392	1254	1300	1300	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	主行事の参加者数	人	873	1182	227	1200	1200	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				加入率、会員数の減少に歯止めがかからなかった。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない)		<input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)	
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない)		<input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)	
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			近年、増加傾向にある幼児の参加者が小学生になってからも引き続き参加できる活動にしていけるために、各こども会の活動内容の精選を進める必要がある。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	市のこども会行事への参加者は年々増加傾向にある。	
現在抱える課題とその対策	課 題	こども会参加児童数の減少。
	対 策	幼児期に参加していた児童が小学生になってからも参加しやすい活動にしていけると同時に、育成者も継続的に参加しやすい活動にするために、行事や各こども会の取り組みの精選を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	池田市こども会育成連絡協議会の事務局として、学校・家庭・地域と協働することで、こども会への参加率を高めるとともに、指導者の育成にも努め、明日の池田を担う子どもたちの健全育成をはかる。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 教育センター		担当課長名	西山 充広
(※)第2期実施計画の事業名	少年団体育成事業		財務会計上の事業名	少年団体育成事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5023	2	財務会計上の短縮番号	6980
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興		
	項目	項目3青少年の健全育成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市内のボーイスカウトおよびガールスカウト活動の活性化を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	市内在住の青少年
事業の手段・方法 (どのように)	市内のボーイスカウトおよびガールスカウトに対し、行事報償金を支援することにより、青少年の健全育成団体の運営、活動の支援を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		126		108		108		108		100.0%
主な内訳	報償金	126		108		108		108		100.0%
										-
人件費(人・千円)		0.03	184	0.08	380	0.08	390	0.01	78	100.0%
内訳	正職員	0.02	148	0.02	152	0.02	156	0.01	78	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.01	36	0.06	228	0.06	234		0	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		310		488		498		186		102.0%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	310		488		498		186		102.0%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		ボーイスカウト・ガールスカウト活動の活性化は青少年健全育成において非常に重要である。教育委員会がその支援を行うことは、地域社会への理解を広げることになるため。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	青少年健全育成団体であるボーイスカウト・ガールスカウトを支援する事業のため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値	元年度	
				(実績)	(実績)	(実績)	(H30)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ボーイスカウト団員数	人	197	192	143	190	190	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ガールスカウト団員数	人	79	60	55	70	70	
	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ボーイスカウト団数	団数	5	5	5	5	5	
	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ガールスカウト団数	団数	2	1	1	1	1	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				青少年健全育成団体であるボーイスカウト・ガールスカウトを支援する事業であるため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			団員数は年々減少傾向にある。団員数増加を図るための支援活動を継続する必要がある。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	世界規模で活動している団体の支援事業であるため。	
現在抱える課題と対策	課 題	団員数を維持するために、活動内容の活性化をいかに図っていくか。
	対 策	広報活動の充実に向けて支援する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	少子化に伴い団員数は減少傾向にあるが、ボーイスカウト・ガールスカウトの活動が今後も継続していくことができるよう、活動支援を行う必要がある。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 教育センター	担当課長名	西山 充広
(※)第2期実施計画の事業名	少年の主張開催事業	財務会計上の事業名	少年の主張開催事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5023 3	財務会計上の短縮番号	7015
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興	
	項目	項目3青少年の健全育成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	小中学生に社会の一員としての自覚と行動を促し、青少年の健全育成に対する市民の理解と関心を深める。
事業の対象 (誰を、何を)	市内小中学生の児童・生徒
事業の手段・方法 (どのように)	地域や社会から感じたこと、考えること、訴えたいことなどの作文を募集し、その中から優秀作品を選出し、応募者本人の言葉で人前で発表してもらう
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 3 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市青少年指導員設置要綱

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		68	76	75	79	98.7%				
主な内訳	賞賜金	30	30	28	32	93.3%				
	補助金	19	19	19	19	100.0%				
	報償金	10	18	18	18	100.0%				
人件費(人・千円)		0.03 184	0.12 637	0.20 876	0.34 2,602	166.7%				
内訳	正職員	0.02 148	0.05 380	0.05 390	0.33 2,574	100.0%				
	再任用短時間勤務職員	0.01 36	0.06 228	0.06 234	0 0	100.0%				
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-				
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-				
	非常勤職員	0 0.01 29	0.09 252	0.01 28	900.0%					
臨時の任用職員		0	0	0	0	-				
支出合計 A		252	713	951	2,681	133.4%				
財源	国・府支出金					-				
	地方債					-				
	その他()					-				
	うち受益者負担 B					-				
一般財源 C		252	713	951	2,681	133.4%				
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
受益者負担率 B÷A						-				
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		この発表の機会、発表者にとって教育的・人間的成長に資するものであり、受益者負担はその趣旨に反する。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	青少年指導員協議会が事業運営にあっている。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値	元年度	
				(実績)	(実績)	(実績)	(H30)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	発表大会出場者数	人	18	18	18	18	18	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	応募作品数	作品	905	800	966	750	800	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				応募作品(平成30年度は966作品)で、内容的にも質が高い作品が多い。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	子ども達が自分の思いを自分の言葉で人前で発表することにより、社会のことを理解する良い機会になっている。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	作品の作成時期、発表大会の実施時期も子ども達が取り組める現状維持が望ましい。	
現在抱える課題と対策	課 題	子ども達が自分の主張や思いを文章にまとめる力、自分の言葉として発表する力の醸成。
	対 策	小学校、中学校国語科等の授業で制作作品の指導をしてもらう等、学校との連携を一層努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	小・中学生が日頃の生活を通して感じていることや考えていることを発表することにより、社会に関心を持ち、社会の一員である自覚を高める一助として、「少年の主張発表大会」はその機会提供として重要な存在である。今後も学校との連携を密に図り、本事業を進めていきたい。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 教育センター		担当課長名	西山 充広
(※)第2期実施計画の事業名	成人の集い開催事業		財務会計上の事業名	成人の集い開催事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5023	4	財務会計上の短縮番号	6970
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興		
	項目	項目3青少年の健全育成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市市政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	成人の日を迎えるにあたり、新成人が一堂に会して成人になったことを自覚するとともに、自ら生き抜こうとする青年を祝福・激励する
事業の対象 (誰を、何を)	新成人
事業の手段・方法 (どのように)	新成人による「成人の集い」実行委員会を設置し、実行委員による運営を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 37 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分	28 年度 (決算)	29 年度 (決算)	30 年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29					
事業費(千円)	1,293	1,299	1,305	2,007	100.5%					
主な内訳	行事委託料	838	838	838	1,162	100.0%				
	賞賜金	390	390	390	761	100.0%				
	通信運搬費	62	68	74	81	108.8%				
人件費(人・千円)	0.18	1,256	0.21	1,330	0.20	1,287	0.16	1,198	95.2%	
内訳	正職員	0.16	1,184	0.14	1,064	0.13	1,014	0.15	1,170	92.9%
	再任用短時間勤務職員	0.02	72	0.07	266	0.07	273	0	0	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0	0.01	28	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A	2,549	2,629	2,592	3,205	98.6%					
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他 ()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	2,549	2,629	2,592	3,205	98.6%				
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A					-					
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容	受益者負担なし。									

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	会場(池田市民文化会館)の使用にあたり、ISSIに業務委託しており、式典運営についてももっとも精通している。これまでの実績と経験から、充実した行事の遂行が確保されているため。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	新成人による実行委員会の活動は、アウトソーシングに適さないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加率	%	68	63	64	65	65
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加者数	人	666	719	693	700	700
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		新成人が企画・運営に携わり、成人を祝福するにふさわしい会となっている。参加率も前年度比と比べ微増となっている。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	舞台業者に委託したゲスト出演者の演目が会の趣旨にふさわしいものとなるよう、今後出演者の演目・内容について、確認していく必要がある。実行委員会が積極的に運営に携われるよう、事務局もサポートしながら、今後も新しい内容や方向性を検討していく。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	新成人が運営することで、参加者も毎年一定の参加率があり、成人としての自覚を持ってもらえている。	
現在抱える課題とその対策	課 題	企画・内容がパターン化している。平成28年度よりビデオレターにてお世話になった先生方から「お祝いメッセージ」を放映しているが、学校・教員の理解と協力が必要。
	対 策	教育委員会のサポートのもと、実行委員会と新しい企画や方向性を探っていくとともに、ビデオレターについても実行委員会から依頼をし、協力が得られるようにする。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	成人年齢を20歳から18歳に引き下げる改正民法が可決されたが、市を挙げて20歳をの門出を祝い意味は今後も変わらず大きい。これからの地域を支える青少年の健全育成のため、運営を協力いただいている青少年指導員協議会とともに事業を推進する必要がある。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 教育センター	担当課長名	西山 充広
(※)第2期実施計画の事業名	1/2成人式開催事業	財務会計上の事業名	1/2成人式開催事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5023	5	財務会計上の短縮番号 7035
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興	
	項目	項目3青少年の健全育成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	10歳を成人までの中間点と位置づけ、それまでの育ちを振り返って祝うとともに20歳の成人式での再会を誓う。
事業の対象 (誰を、何を)	市内在住の小学4年生
事業の手段・方法 (どのように)	実行委員会による企画・運営
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 29 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29					
事業費(千円)		703	806	906	114.7%					
主な内訳	行事委託料		400	400	100.0%					
	賞賜金		296	296	100.0%					
	通信運搬費		4	50	1250.0%					
人件費(人・千円)	0.00	0	0.18	988	0.24	1,599	0.23	1,794	133.3%	
内訳	正職員		0	0.08	608	0.17	1,326	0.23	1,794	212.5%
	再任用短時間勤務職員		0	0.10	380	0.07	273		0	70.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
臨時的任用職員		0		0		0		0	-	
支出合計 A		0	1,691	2,405	2,700	142.2%				
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C		0	1,691	2,405	2,700	142.2%				
一般財源比率 C÷A			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
受益者負担率 B÷A						-				
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容	市主催の行事であるため受益者負担なし。									

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	会場(池田市民文化会館)の使用・運営については業者委託できている、式自体の運営を中心に業務を行うことができるため。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	会場(池田市民文化会館)の使用・運営については業者委託できるが、式自体の運営は市内から募った10歳児による実行委員会が担っているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加率			37	34	50	50
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加者数			362	305	422	450
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				対象となる4年生への周知が十分でなかった。また、インフルエンザ等の流行もあり、参加できなかった児童も多く、参加者数が思うように伸びなかった。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		早期からの更なる周知により、参加者数の増をめざす。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		参加者数を伸ばすための実施方法取組について。
令和元年度の取組(平成30年度比)		1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容		昨年度と同様に取り組むが今年度は市制80周年ということもあり、フェスタ参加者の増が見込まれるので、相乗効果をねらう。
現在抱える課題とその対策	課 題	教育フェスタと同日開催による会場の割り振りやリハーサルも含めた進行スケジュールの調整に課題を抱えている。
	対 策	それぞれが単独の事業とならないよう、フェスタの一環として位置づけ、それぞれの参加者を取り込むことで相乗効果を狙う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由		29年度から、池田市独自行事として改めて開催した取り組みである。10歳は大きな節目の年でもある。今までの育ちを振り返ったり、将来に向けた学習に取り組んだり、学校でも取り組みが行われることが多い。今後、内容を検討し、さらなる発展を目指していく。